

# 難聴対策 荒川区も補聴器補助や相談を!



区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています  
**日本共産党荒川区議団**  
**小林行男**  
 ご意見をお寄せください

区政ニュース

NO. 746  
 2019. 10. 13

区議会控室  
 TEL 3802-4627  
 FAX 3806-9246  
 Email: arajcp@tcn-catv.  
 ne.jp  
 ホームページ  
<http://www.tcn-catv.ne.jp/~jcpa/>  
 東尾久相談室  
 東尾久2-37-3  
 TEL・FAX  
 3895-0508

年を重ねるごとに会話が増えにくくなり、仕事や日々の生活にも困ってしまう。外出や人に会うのおおっくうになり認知症が不安に・・・。

**難聴の 高齢者1000万人**

補聴器は3万円〜数十万円と高額で、聞こえの調整が難しく使用をやめてしまう方も少なくありません。

**中度難聴者への公的支援を**

国の補聴器購入助成は、障害者手帳をもつ両耳の平均聴力レベルが70デシベル以上の高度・重度難聴者のみです。中度難聴者への支援がありません。

共産党の国会質問で、麻生太郎財務大臣も「厚生省から提案がないが、やらないといけない必要な問題」と答弁。

共産党都議団がおこなったアンケートでは、「耳が遠い」と



応えた方で補聴器を使っているのは約半数(52.8%)。具体的な要望では、

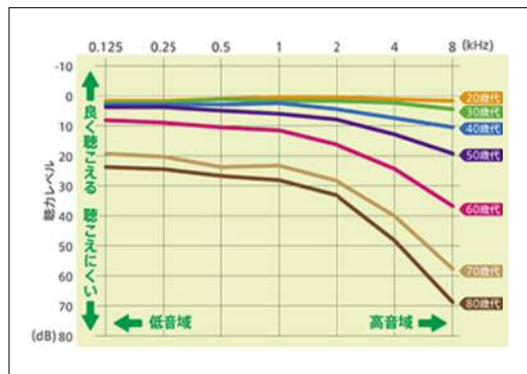
「購入費補助の充実」「価格の引き下げ」「専門医や相談員による丁寧な説明」などでした。23区の中でも現在9区が中度の難聴者の方に独自補助を実施(左表)しています。荒川区では以前から区議会で提案してきましたがいまだに検討中です。国・都・区をあげて中度の

65歳以上	
江東区	一回のみの現物支給
葛飾区	非課税者、3,5万円限度に1回
江戸川区	非課税者、2万円、1回
中央区	3,5万円限度
墨田区	非課税者2万円限度
豊島区	非課税者、2万円限度、1回
千代田区	20歳以上、2,5万円限度1回
70歳以上	
新宿区	2000円負担で支給
大田区	非課税者、2万円限度に1回

## 区内の認定専門医・補聴器相談医

(日本耳鼻咽喉科学会ホームページ・2019年6月現在)

- 小泉医院 (東尾久6丁目)
- 上杉医院 (西日暮里2丁目)
- かのう耳鼻咽喉科 (町屋2丁目)
- まちや耳鼻咽喉科クリニック (町屋3丁目)
- 東京女子医大東医療センター (西尾久2丁目)
- とかの医院 (荒川5丁目)



方を含めて難聴と補聴器支援を  
 実現できるようにがんばりたい。

## 商店街の秋のイベント



### おぐぎんざ商店街

ふれあい秋まつり

日時：10月9日(土)、20日(日)

特番夕市は19日午後4時から7時

抽選会は20日

午後2時30分、4時30分の2回

### 尾久本町通り商店会

おぐとびあ23秋の大バザール

日時：10月20日(日)

午前10時～午後3時

やっぱり地元の商店街に。いいお買い物ができるかな!?



## 法律相談会



毎月第3火曜日(午後6時から)北千住法律事務所の弁護士による法律相談会をおこなっています。できるだけ事前にご連絡ください。

**10月の相談会は、  
 10月15日(火)**

尚、お急ぎの方は、弁護士事務所と連絡して、ご相談できますのでお気軽に声をかけてください。



# 荒川区の基金（貯金）をどこまでためるの!?

2015年度末	279億6200万円
2016年度末	327億2900万円
2017年度末	352億5000万円
2018年度末	368億4400万円

しかし、過去15年間の新築・改築に要した289億円のうち、基金を活用したのは14%です。5割は長期の借入れをあてています。多額の基金がなければ新築も改築もできないということではありません。

今回、荒川区は決算の黒字分を全額積み立て、2018年度末で基金は368億円です。どこまでため込むのでしょうか。

「10年、20年先には区内小学校の建て替えもしかり。極めて大きな財政需要があるので早い時期から基金を積み立てる必要がある」「今の区民がガンンして将来のために基金を事前に準備しておかなければ改築、新築ができなくなる」との質疑がありました。



決算特別委員会では自民党の委員の方から「10年、20年先には区内小学校の建て替えもしかり。極めて大きな財政需要があるので早い時期から基金を積み立てる必要がある」「今の区民がガンンして将来のために基金を事前に準備しておかなければ改築、新築ができなくなる」との質疑がありました。

もちろん、年度間の調整のための財政調整基金や目的をハッキリさせた基金は必要ですが、現在の基金額は多すぎます。その一方で、

	総事業費	基金活用	起債	国補助	都補助	一般財源	開設
荒木田ふれあい館	381	0	237	0	0	107	2004年10月
西尾久ふれあい館	388	0	230	0	0	158	2004年10月
山吹ふれあい館	380	0	256	0	1	123	2006年2月
西日暮里ふれあい館	555	0	284	0	174	97	2008年4月
汐入東小学校	5791	3127	1506	647	0	511	2010年4月
峡田ふれあい館	824	0	412	0	96	316	2011年4月
南千住ふれあい館	686	0	349	0	94	243	2012年4月
町屋ふれあい館	1130	0	362	0	94	674	2012年4月
尾久ふれあい館	1032	0	583	0	99	350	2012年4月
尾久八幡中学校	4698	952	3204	254	0	287	2013年4月
石浜ふれあい館	495	0	252	0	94	149	2013年4月
夕やけこやけふれあい館	989	0	453	0	94	442	2013年4月
サンバー(大規模改修)	2576	0	1943	107	0	526	2016年4月
荒川リサイクルセンター	885	0	436	0	0	0	2016年10月
ゆいの森	8137	113	3817	832	0	3375	2017年3月
合計	28947	4192	14324	1840	746	7358	
構成割合		14.50%	49.50%	6.40%	2.60%	25.40%	

※ふれあい館の都補助は児童館事業分

西日暮里駅前再開発では、190億円もかけて区民ホール・ホール建設補助金を投入して1千戸の住宅や3万㎡の商業床誘致には積極的です。

貧困と格差が広がり、消費税増税で区民生活が大変な時、ため込みにではなく、区民の暮らし第一に、くらし応援の施策に知恵を出して大胆に進めていくことが求められるのではないのでしょうか。

## 高齢者・住み替え家賃補助の活用を!!



荒川区では、取壊し等で立ち退きを求められている方や昭和56年以前の住宅（新耐震基準にてきごうしていない）・専用スペースが18㎡以下・居室にトイレや浴室がないアパートにお住まいの方に、住まいの安心安全を確保できるように家賃の差額補助等の支援を行っています。



### 【資格要件】

- 70歳以上の一人暮らし世帯または70才以上の方及びその配偶者・兄弟姉妹で構成されて稲世帯
- 2年以上継続して区内に住所を有していること。
- 区内の民間賃貸住宅からの区内の他の民間賃貸住宅に転居すること。
- 住民税非課税であること等



家賃補助	月4万円を上限で転居前と転居後の差額を補助
敷金礼金	家賃補助額の2ヶ月分を上限に補助
仲介手数料	家賃補助額の1ヶ月分を上限に補助
転居費用	4万円を上限に支払った額を補助
更新料	家賃補助額の1ヶ月分を上限に補助

### 物件探しのお手伝いも・・・

区内の不動産業者や家主さんの協力を得て、物件の情報を提供しています。また、個人で物件探しが困難な方には、民間賃貸住宅の物件探しの支援を行っています。



高齢者福祉課高齢者福祉係  
3802-3111 内線2661



○9月に募集が行われた高齢者住宅は単身15戸に対して154名が、世帯5戸に対して23世帯からの応募がありました。都営住宅も倍率が高く、入居の希望がなかになかないません。安心して住み続けられる住宅は欠かせません。やっぱり、公的住宅の建設などが必要です。

